

製品名: DGAT2L3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09939**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	39kDa

抗原情報

遺伝子名	AWAT1
別名	AWAT1; DGA2; DGAT2L3; Acyl-CoA wax alcohol acyltransferase 1; Diacylglycerol O-acyltransferase 2-like protein 3; Diacylglycerol acyltransferase 2; Long-chain-alcohol O-fatty-acyltransferase 1
遺伝子 ID	158833.0
SwissProt ID	Q58HT5
免疫原	抗血清はヒト AWAT1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 261-310

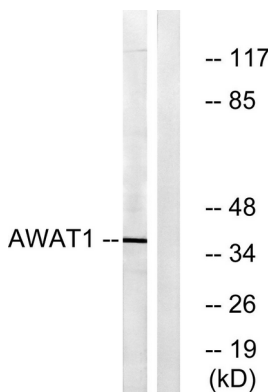
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ジアシルグリセロールアシルトランスフェラーゼファミリーに属します。この酵素は、長鎖（ワックス）アルコールをアシル CoA 由来の脂肪酸とエステル化してワックスエステルを生成します。ワックスエステルは脂質に多く含まれていることから、この酵素は皮膚の脂質代謝において中心的な役割を果たしていることが示唆されます。この観察結果と一致して、このタンパク質は主に皮膚の脂腺で発現しています。[RefSeq 提供、2009 年 9 月]、触媒活性: アシル CoA + 長鎖アルコール = CoA + 長鎖エステル。、機能: 主に長鎖（ワックス）アルコールをアシル CoA 由来の脂肪酸とエステル化してワックスエステルを生成するアシルトランスフェラーゼ。ワックスエステルは脂質に多く含まれていることから、皮膚の脂質代謝において中心的な役割を果たしていることが示唆されます。アラキシルアルコールとデシルアルコールを優先的に利用し、飽和長鎖アルコール（C16、C18、C20）に対する活性は比較的低い。、類似性: ジアシルグリセロールアシルトランスフェラーゼファミリーに属する。、組織特異性: 主に皮膚で発現し、脂腺に限定されている。成熟した中心部に位置する細胞では、破裂して脂質が放出される直前に発現する。脾臓を除くすべての組織でも発現する。胸腺、前立腺、精巣ではより高レベルで発現する。、

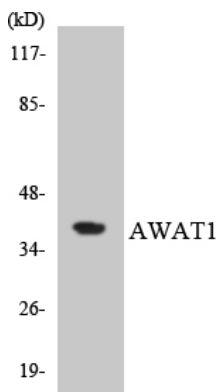
研究分野

-

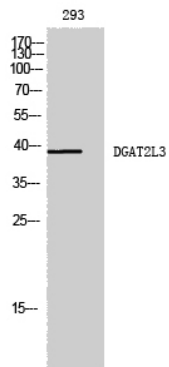
画像データ



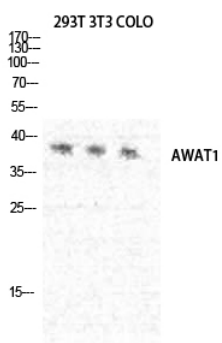
AWAT1 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



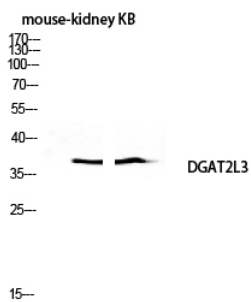
AWAT1 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



1: 1000 に希釈した DGAT2L3 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析



1: 1000 に希釈した DGAT2L3 ポリクローナル抗体を用いた 293T NIH-3T3 COLO 細胞のウェスタンブロット解析



DGAT2L3 抗体を用いたマウス腎臓 KB 溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。